

# 短期豪ドル債オープン(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券 ※課税上は株式投資信託として取り扱われます。



Australia

お申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」等を必ずご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)の  
ご請求・お申込み

設定・運用

丸八証券株式会社



三井住友DSアセットマネジメント

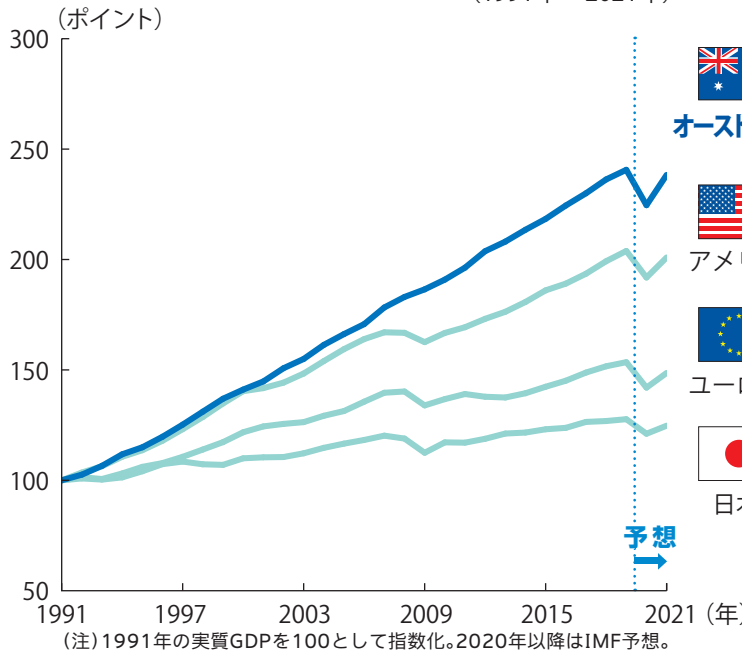
丸八証券株式会社  
金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号  
加入協会:日本証券業協会

三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# 高い経済成長を実現してきたオーストラリア

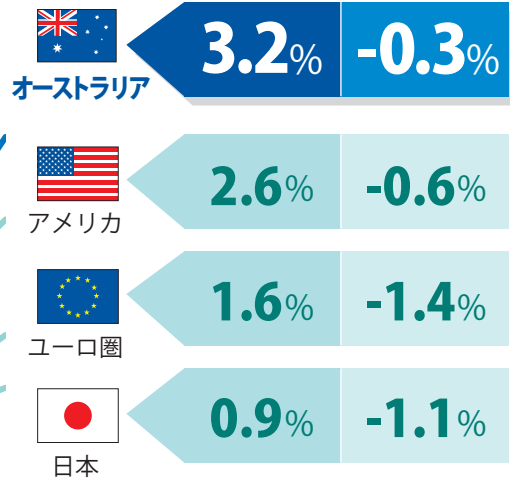
先進国・地域の中で相対的に高い経済成長率を維持しています。

主要国・地域の実質GDPの推移  
(1991年～2021年)



## 実質GDP成長率

実績(平均) 予想(平均)  
(1992～2019年) (2020～2021年)



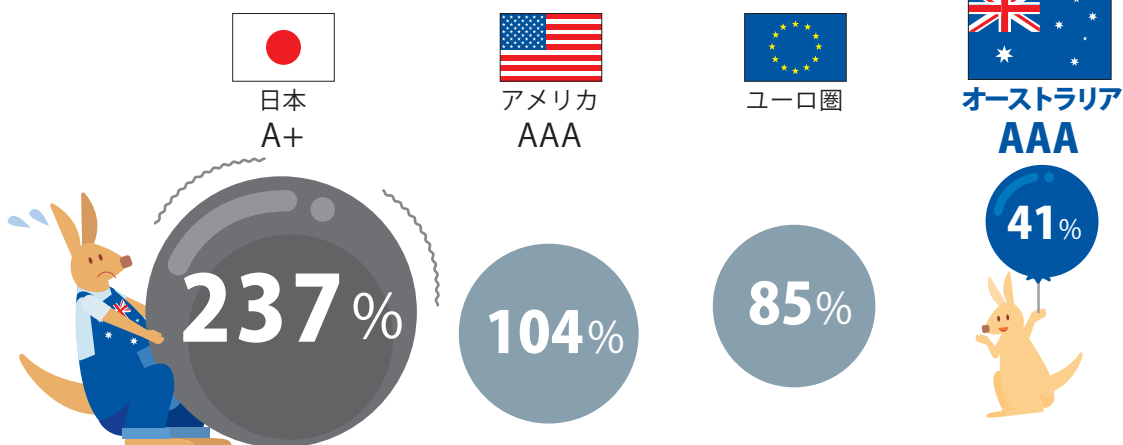
# オーストラ

先進国・地域の安定性と新興

# 高い格付けを誇るオーストラリア

政府債務残高は対GDP比で他の先進国・地域に比べて低い水準です。

主要国・地域の格付けと政府債務残高(対GDP比)



## ヨーロッパ各国の状況



(注1) 格付け(自国通貨建て長期債務格付け)は、S&Pグローバル・レーティング(S&P)、ムーディーズ(Moody's)のうち高い格付けを表示。格付け記号はS&Pの表記方法で表示。  
(注2) 格付けは2020年4月末、政府債務残高(対GDP比)は2018年。

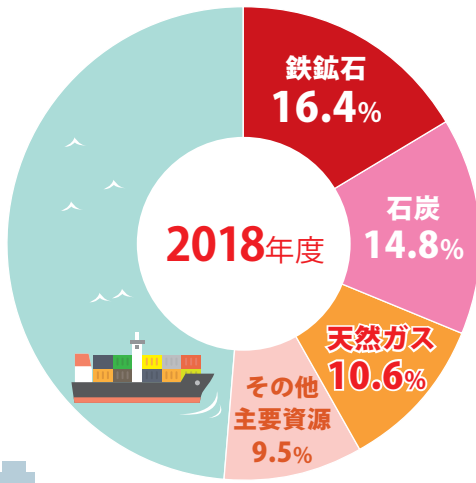
(出所) IMF、豪州外務貿易省、国連、Bloombergのデータを基に委託会社作成  
※上記は過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。  
また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

# 世界屈指の資源国

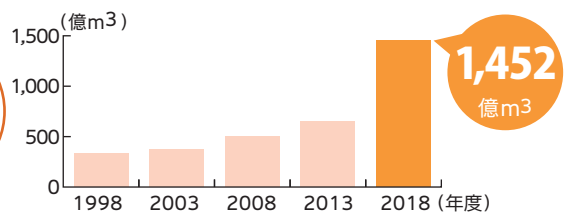
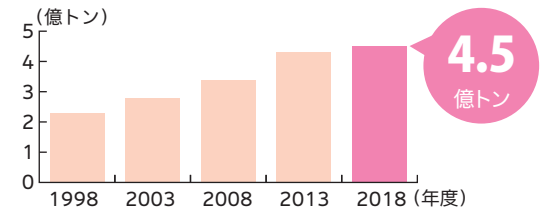
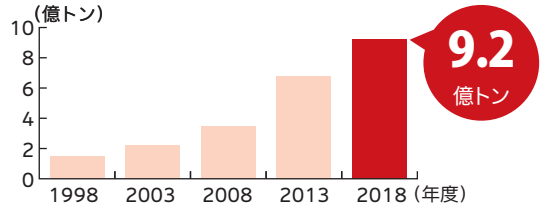
豊富な天然資源が経済成長(外需)を支えます。



主な輸出品目



資源の生産量の推移



(注1) オーストラリアの会計年度は7月~翌年の6月。  
(注2) 順位は2018年の輸出額ベースで算出。

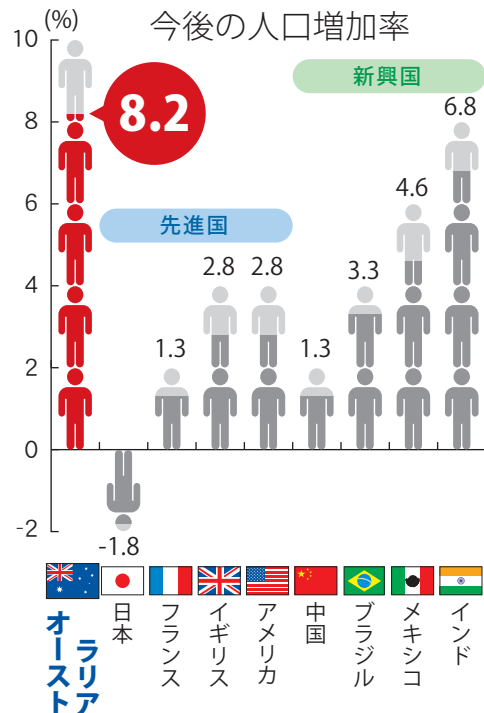
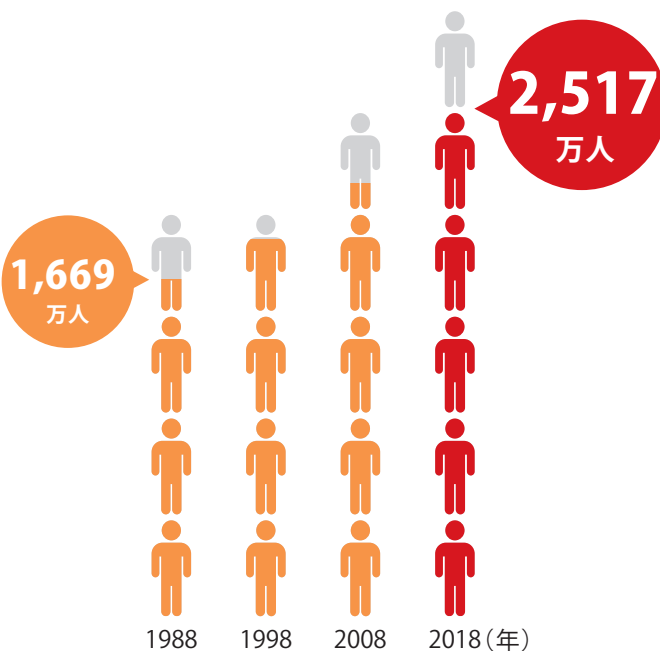
# リアの魅力

国の成長性を内包する経済構造

## 新興国に匹敵する人口増加率

持続的な人口増加が経済成長(内需)を下支えしています。

オーストラリアの人口推移



(注) 2018年から2023年まで5年間の人口増加率。2019年以降はIMF予想。



# ファンドの特色

短期豪ドル債オープン(毎月分配型)は、主としてマザーファンドへの投資を通じて、オーストラリア・ドル(豪ドル)建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保を目指して運用を行います。



## 1 金利水準が魅力的な豪ドル建ての公社債等に分散投資します。

- 原則として為替ヘッジは行いません。
- ファンド全体のデュレーションは、1年未満とします。

※オーストラリア国外で発行される豪ドル建ての公社債に投資する場合があります。  
 ※残存期間が1年以上の公社債に投資する場合があります。



## 2 投資対象は高格付けの豪ドル建て公社債および短期金融商品等とします。

- 投資する有価証券は、原則として取得時において、長期格付けでA格以上、短期格付けでA1/P1以上の格付けを取得しているものとします。



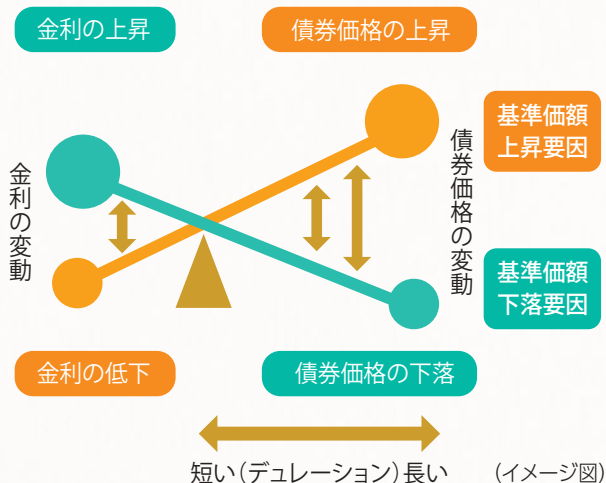
## 3 毎月の決算日に、原則として分配を目指します。

- 決算日は、毎月7日(休業日の場合は翌営業日)とします。
- 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※後述の「分配金に関する留意事項」をご確認ください。

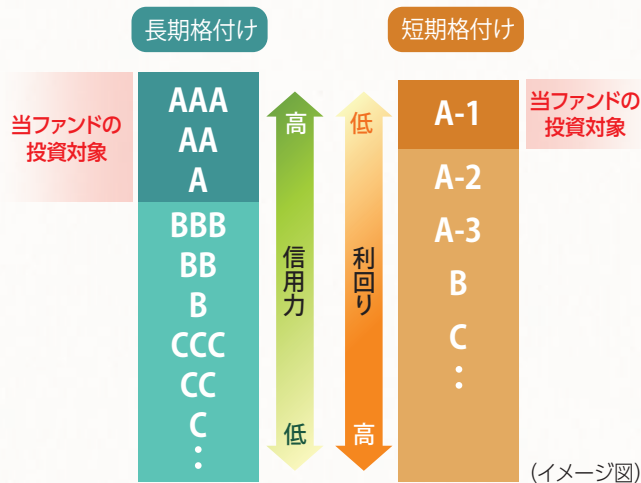


### デュレーションとは



デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い(大きい)ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

### 格付けとは



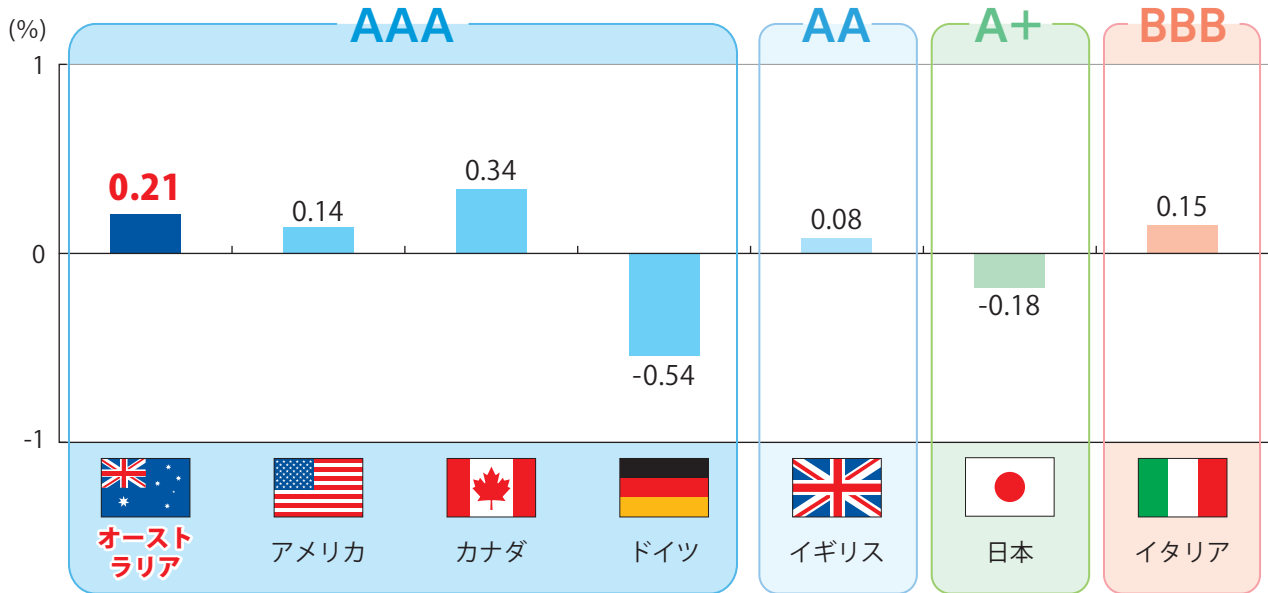
格付けとは、債券などの元本および利息が償還まで当初の契約の定め通り返済される確実性の程度を評価したものをいいます。信用力の高い格付けを持つ債券ほど、元本および利息が償還まで当初の契約の定め通り返済される確実性は高くなります。一般的に、格付けの高い債券ほど利回りは低く、格付けの低い債券ほど利回りは高くなります。  
 ※上図の格付け記号は、S&Pグローバル・レーティング(S&P)の表記方法で表示しています。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。



オーストラリアの金利および格付けは主要先進国の中でも、高い水準であることがわかります。

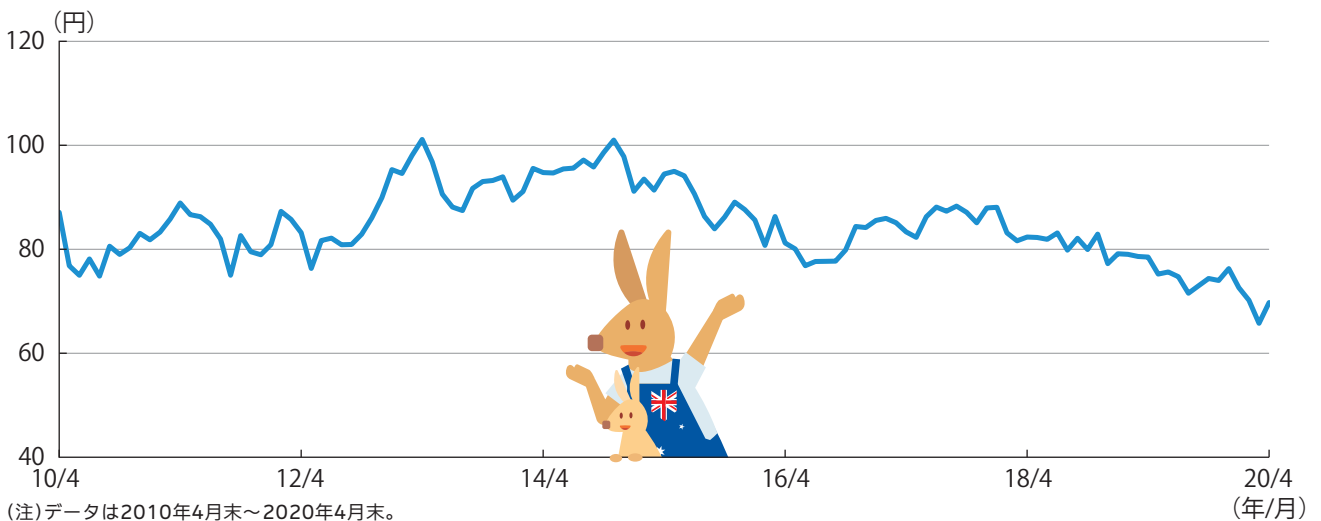
## 主要国の1年国債利回りおよび格付け



(注1) データは2020年4月末。  
 (注2) 格付け(自国通貨建て長期債務格付け)は、S&Pグローバル・レーティング(S&P)、ムーディーズ(Moody's)のうち高い格付けを表示。格付け記号はS&Pの表記方法で表示。

豪ドル(対円)の推移は以下の通りです。

## 豪ドル(対円)の推移



(注) データは2010年4月末～2020年4月末。

(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成  
 ※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。  
 また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。  
 ※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



# 分配金に関する留意事項

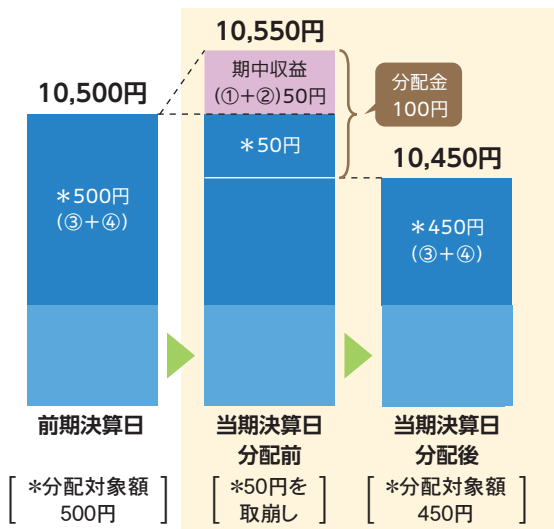
分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



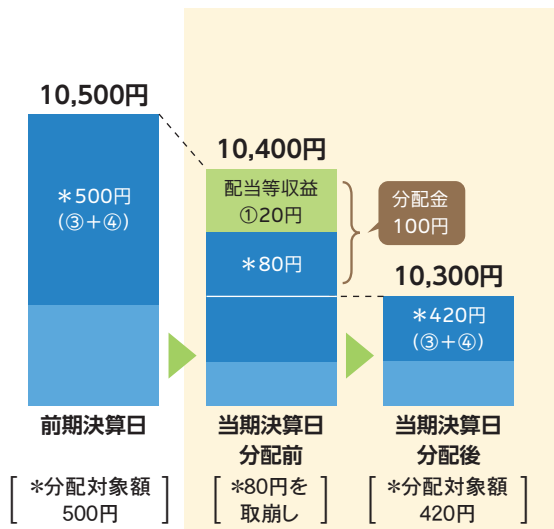
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



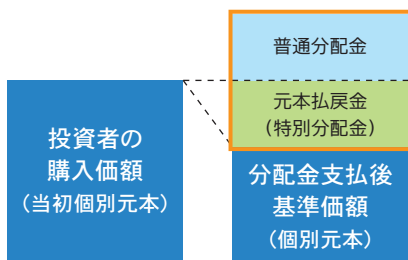
前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。 ※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

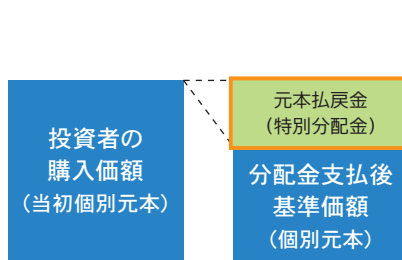
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。

分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。



# 当ファンドの投資リスクについて

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

為替リスク	当ファンドは、マザーファンドを通じて外貨建資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます。また、当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
金利変動に伴うリスク	投資対象の債券等は、経済情勢の変化等を受けた金利水準の変動に伴い価格が変動します。通常、金利が低下すると債券価格は上昇し、金利が上昇すると債券価格は下落します。債券価格が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。また、債券の種類や特定の銘柄に関わる格付け等の違い、利払い等の仕組みの違いなどにより、価格の変動度合いが大きくなる場合と小さくなる場合があります。
信用リスク	投資対象となる債券等の発行体において、万一、元利金の債務不履行や支払い遅延（デフォルト）が起きると、債券価格は大幅に下落します。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。また、格付機関により格下げされた場合は、債券価格が下落し、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
流動性リスク	実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。
カントリーリスク	投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制が変更されたりする場合があります。さらに、外国政府が資産の没収、国有化、差押えなどを行う可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# 短期豪ドル債オープン(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券 ※課税上は株式投資信託として取り扱われます。

## お申込みメモ

● 購入単位	お申込みの販売会社にお問い合わせください。
● 購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
● 換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
● 換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
● 申込不可日	以下に当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ● シドニー先物取引所の休業日
● 換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。
● 信託期間	無期限(2003年4月18日設定)
● 決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
● 収益分配	年12回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。(委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。)

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

● 購入時手数料	購入価額に <b>2.2%(税抜き2.0%)を上限</b> として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
● 信託財産留保額	ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

● 運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に <b>年0.99%(税抜き0.90%)</b> の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
● その他の費用・手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**お申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」等を必ずご覧ください。**

三井住友DSアセットマネジメントでは、インターネットによりファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。

<https://www.smd-am.co.jp>

### 【重要な注意事項】

■当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動しますが、元本や利回りが保証されているものではありません。■投資

信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。■当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書(交付目論見書)と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)が優先します。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。  
作成基準日:2020年4月末